

元気な企業は

「コソコソ」が違う!!

— シンクタンクの視点 —



近隣住民が楽しみながら参加するホワイトルーフプロジェクト

テーマ

CSR

(企業の社会的責任)

日本政策金融公庫
総合研究所
篠崎 和也

地域貢献が高めた企業のブランド力

岩手県盛岡市の川上塗装工業株式会社は、一般住宅を中心に塗装工事を行う。最新の多機能性塗料を県内でいち早く導入するなど技術の向上に励んでいる。さらに、板金と大工工事の技術を有し、住宅に腐食や破損があっても修繕を外注することなく自社で一貫して施工している。

この時点で塗装工事の範囲を超えているが、その活動は建設会社の枠に収まらない。同社は、従業員12人と小所帯ながらCSRの専門者を置き、3つの地域貢献活動を行っている。

1つ目は、ボランティアを募って公共施設の屋根を塗装する「ホワイトルーフプロジェクト」だ。児童保育所の屋根を塗った際は、親子連れなど地域住民約80人が参加した。

2つ目は、不要な布を再利用する「リンクアップエス」だ。ウエスとは、工業用の油など汚れたものを拭き取る布のことである。近隣の家庭から使わなくなったタオルなどを回収し、裁断作業を障害者が働く福祉作業所に工賃を支払って委託している。同社で使

切れない分は販売し、収益は社会貢献活動をする団体に寄付する。

3つ目は、SDGsについて情報発信する場を提供する「ソノツキ」だ。本社の3階をイベントスペースとして貸し出している。イベントのテーマは、フードロス削減や再生可能エネルギー、脱炭素などさまざまである。参加者が学んだことを各自実践してほしいという思いが「ソノツキ」の由来である。

これらの活動は、同社が近隣の住民と触れ合うきっかけになっている。地域貢献する同社を信頼して塗装の相談も増えたという。仕事に対する満足度は高く、評判は口コミで一層広がっている。CSR活動を起点に、企業評価を高める好循環を生んでいるのである。



社長の川上さん

この企業のポイント

CSR活動は、一見すると奉仕的にみえるが、企業にとってのメリットも大きい。川上秀郎社長は子どもたちが笑える未来をつくりたいと、CSR活動に精力的に取り組んでいる。これにより、地域からの信頼を集め、一般に下請け工事が多い塗装店でありながら、仕事のほとんどを個人や企業からの元請けが占めている。

同社の活動に刺激を受けた参加者たちも、よりよい地域をつくる担い手になっていくはずだ。地元密着で商売する中小企業にとって、地域貢献活動は、長い目で見て自社の商圏を盛り上げることにもつながるのである。

川上塗装工業株式会社

代表者 川上 秀郎

創業 2005年

従業員数 12人

事業内容 塗装業

所在地 岩手県盛岡市
三ツ割3-2-11

電話番号 019(601)4014